文教大学

総合型選抜対策講座②

文教大学国際学部　国際理解学科
（課題遂行型出願向け）

事前課題（レポート）の取り組み方

2024年7月14日（日）

BUNKYO UNIVERSITY

担当者の自己紹介

久保庭　慧（くぼにわ　さとし）といいます。

国際学部国際理解学科の教員をしています。

国際法という法学の一分野を研究しています。特に文化遺産の問題に関心があり、ゼミでは世界遺産をテーマに学生と一緒に勉強しています。

今日の目次

1. 今後のスケジュール
2. 国際理解学科の課題の確認
3. レポート課題作成に向けて
    3-1. 課題図書の要約を作ろう
    3-2. 意見・コメントをつけてみよう
    3-3. 文章を実際に書く時のポイント
    3-4. まとめ
4. さいごに

総合型選抜対策講座のスケジュール

- □ 6月23日（日）：①課題図書の選び方・読み方について
- ☑ 7月14日（日）：②事前課題（レポート）の取り組み方
- □ 8月18日（日）：③プレゼンテーション資料作成のポイント
- □ 9月22日（日）：④試験当日に向けた対策について

総合型選抜入試のスケジュール

	課題遂行型		資格優先型	
2024年	1期	2期	1期	2期
9月1日～9月9日	出願期間		出願期間	
9月20日～9月27日	レポート提出期間		↓	
10月13日 （予備日：10月12日）	試験日		試験日	
10月23日～11月5日	↓	出願期間	↓	出願期間
11月1日	合格発表	↓	合格発表	↓
11月6日～11月13日		レポート提出期間		
12月1日		試験日		試験日
12月9日		合格発表		合格発表

課題遂行型は1期、2期ともに課題図書を読んでレポートを作成し、試験日にプレゼンする形式です。課題遂行型で出願する学生は、夏休み期間に、課題図書を選び、それをしっかり読んで、事前課題に取り組むことをおすすめします！

総合型選抜（課題遂行型1期）のスケジュール図解

7月・8月 → 9月

課題図書の全体像の把握

課題図書の精読・読み込み

事前課題（レポート）の作成

プレゼンテーション準備

9月1日（日）～9月9日（月）
出願受付期間

9月20日（金）～9月27日（金）
事前課題（レポート）
提出期間

※スケジュールについての詳細は入学試験要項を確認してください。

10月 → 11月

10月13日（日）試験日
会場：東京あだちキャンパス

11月1日（金）
合格発表

総合型選抜（課題遂行型2期）のスケジュール図解

8月・9月

10月・11月

課題図書の全体像の把握

課題図書の精読・読み込み

事前課題（レポート）の作成

プレゼンテーション準備

10月23日（水）～11月5日（火）
出願受付期間

11月6日（水）～11月13日（水）
事前課題（レポート）
提出期間

※スケジュールについての詳細は入学試験要項を確認してください。

12月

12月1日（日）試験日
会場：東京あだちキャンパス

12月9日（月）
合格発表

国際理解学科の課題の確認

詳細については、必ず2025年度『文教大学入学試験要項（総合型選抜）』を確認してください。

2. 国際理解学科の課題の確認

文教大学

◯課題の内容

（1）以下の3つの課題図書の中から選んだ本を読み、2000字程度のレポートを書いてください（1期）。

a) 本田由紀『「日本」ってどんな国？国際比較データで社会が見えてくる』
（筑摩書房、2021年）［ちくまプリマー新書］

b) 平賀緑『食べものから学ぶ世界史――人も自然も壊さない経済とは？』
（岩波書店、2021年）［岩波ジュニア新書］

c) 久保田竜子『英語教育幻想』
（筑摩書房、2018年）［ちくま新書］

2. 国際理解学科の課題の確認

文教大学

◯課題の内容

（1）以下の3つの課題図書の中から選んだ本を読み、2000字程度のレポートを書いてください（2期）。

d) 上野千鶴子『女の子はどう生きるか―教えて上野先生！』
（岩波書店、2021年）［岩波ジュニア新書］

e) 安田菜津紀『隣人のあなた―「移民社会」日本でいま起きていること』
（岩波書店、2022年）［岩波ブックレット］

f) 鳥飼玖美子『異文化コミュニケーション学』
（岩波書店、2021年）［岩波新書］

2. 国際理解学科の課題の確認

◯課題の内容（続き）

※各課題図書の概要については、第1回の総合型選抜対策講座の資料も参照してください（国際学部HPに掲載しています）。

※課題図書は、書店などから購入するか、図書館から借りて読むなど、各自で入手してください（じっくり読み込むことや線を引くことなどを考えると、できるだけ購入することをお勧めします）。

◯課題の内容（続き）

（2）その上で、読んだ本のテーマに関連する、もしくはそのテーマを発展させた、わたしたちが現在直面している問題 （※）を具体的に取り上げたプレゼンテーション資料（※※）をつくり、それをもとに試験当日発表をしてください。

（※）例えば日本社会が抱えている問題、世界各国が共通して直面している問題など

（※※）パワーポイント、ポスターなど

◯取り組むべき事前課題まとめ

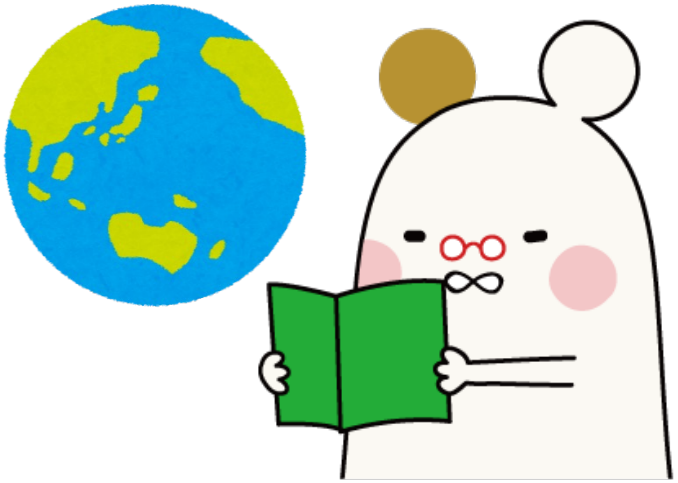
（1）課題図書を一つ選んだ上で、2000字程度のレポートを作成（提出期限までに送付）。

（2）選んだ課題図書のテーマに関連する、あるいはそれを発展させたプレゼンテーション資料の作成（試験当日持参）。

＊レポート課題作成に向けて

どうやって取り組んだらいい？

今回の講座では、レポート課題作成の
ポイントについて紹介します。



✓ 課題図書の要約を作ろう

・評価の高いレポートを書くためには、課題図書で述べられていることを正確に理解している必要があります。まずは本をしっかり読んで内容の要約をしてみましょう。

→ まずは、選んだ章の内容を「自分がどのように理解したか」「自分がどのように読んだか」を整理してください。

・本を丁寧に読み込み、要約を作りながら（あるいはひと通り読んだ後、二回目に読む時に）、興味深いと思った箇所や段落に、線を引いたり、印をつけたり、とったりましょう。

✓ 課題図書の要約を作ろう（続き）

・要約の具体的なやり方にもいろいろありますが、まずは手始めに、本を読む中で何度も言及されるキーワードをノートなどに書き出し、そうしたキーワードの内容について説明を加える、という作業をしてみてはどうでしょうか。。

・キーワードの確認が終わったら、そうしたキーワードに留意しながら、今度は課題図書の段落ごとに、内容をできるだけ自分の言葉で、箇条書きでまとめる作業をしてみましょう。

・箇条書きで書いてみた要約を、論理の展開に注意しながら、ひと繋ぎの文章として完成させましょう。

✓ 課題図書の要約を作ろう（続き）

・もちろん、本一冊、隅から隅までを満遍なく要約するのは慣れていないと時間もかかるし、かなり大変だと思います。そんな場合には例えば、目次を参考にして、本全体の内容をおさえつつ、自分の関心のあるテーマに焦点を絞って、そこを詳しく、丁寧に書いていく、というやり方もあります。

・いずれにしても一番大切なのは、闇雲に本を読み出すのではなく、目次を含めて本の全体像をしっかり把握しながら読むことです（目次だけ自分で「写経」するのもおすすめです）。

✓ 意見・コメントをつけてみよう

・要約作業を一通り終えたら、その内容を踏まえてコメント（自分の意見や考え）をつけてみましょう。

→学問的な営みにおいては、建設性・発展性のあるコメントが高く評価されます。「～がわかった」「～を知ることができた」「～が難しかった」のようなコメントは建設性・発展性という意味ではあまり評価されません。

→課題図書の記述のうち、興味深いと思った部分、疑問に思った部分（著者の主張に対して意見が分かれそうな部分）に線を引いたり、印をつけたり、メモをとってみたりしてみましょう。

✓ 意見・コメントをつけてみよう（続き）

・疑問点／興味深い点の抽出が終わったら、次に疑問／興味を持った理由を説明しましょう。大学の勉強には答えがないことが多いと言われます。だからこそ、「なぜそのように考えるのか」を、しつこいくらいに丁寧に説明することが必要です。

→2000字の字数は、あなたの考えや意見の根拠（＝「なぜ」）を手を替え品を替え、丁寧に説明するためのスペースです。

✓ 文章を実際に書く時のポイント

①構成を必ず最初に作る！

学術的な文章を書いたり、発表資料を作成する際に必ずやらなければならないのが、事前の構成作りです。

→レポートは闇雲に書き出すのではなく、レポートを書き出す前に、必ず構成（何をどのような順序で論じるか、いわばレポートの設計図）作りをしてから書き出しましょう。読む側としても、構成が示されていなかったり、整理されていない文章はとても理解しにくく、読みにくいです。

✓ 文章を実際に書く時のポイント（続き）

②<u>簡潔な文章を心がけ、できあがった文章を音読する</u>

→「一文は短めに」を心がけ、できあがった文章は、必ず一度は自分で音読してみましょう。自分で音読してすぐに理解できない文章は、他人には絶対理解できないものと思ってください。

③<u>課題の指示（形式面）をしっかり守る</u>

→字数のほか、課題の要求に漏れなく答えているか等もよく確認してください。

④<u>引用を効果的に行う</u>

→自分の考えやコメントを書く時には、本の内容を適切に引用してください。引用が効果的にできているレポートは、見ている人の目を惹きます。

✓ 文章を実際に書く時のポイント（続き）

④引用を効果的に行う（続き）

→引用には大きく分けて直接引用と間接引用の2種類があります。
文章の流れや自分のスタイルに応じて使い分けてください。
以下は架空の著者と文章、ページ数を使ったそれぞれの一例です。

＊直接引用

「真に効果的なコミュニケーションのためには、論理の正しさだけでなく、身振り手振りなどを含めた言葉以外の要素も大切である」と文教花子は述べている（57頁）。

＊間接引用

文教花子によれば、効果的コミュニケーションには、論理的正確性だけでなく、身振りや手振りなども必要とされるという（57頁）。

○レポート課題作成のポイントまとめ

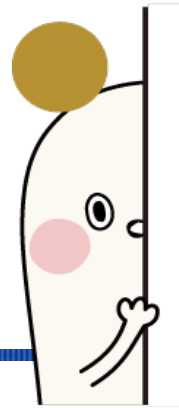
①選んだ本の内容を要約し、自分がどのように理解したかを示す。その際、本の目次をよく眺めることを忘れずに！

②コメントをつける。大事な「なぜ」の説明！自分がそのように考える根拠を丁寧に説明しよう。引用も効果的に使おう。

③レポートを書く前に必ず構成（設計図）を作ること！

④文章は簡潔に！できあがった文章を必ず自分で1回は音読すること。

⑤指示された字数や課題の要求内容など、形式的なことがちゃんと守れているかどうかの確認をお忘れなく！



8月18日（日）第3回オープンキャンパス総合型選抜対策講座③では、プレゼンテーション資料作成のポイントについてお話しますので、特に1期入試への出願を考えている方は、次回までに、課題図書の読み込みと、事前提出レポートの草案作成くらいまで進めておくと良いと思います。

総合型選抜についてわからない点がある場合は、

kokusai-sogo@bunkyo.ac.jp

までご相談ください。次のオープンキャンパス（8月18日開催予定）でまたお会いしましょう！

＊お問い合わせの際には、「志望学科」「氏名」「高校名」を必ず明記してください。

＊回答はメールを送信していただいたアドレスに返信しますので、受信制限などを解除して、文教大学からのメールを受信できるようにしておいてください。

文教大学のホームページだけではなく

国際学部のホームページ

QRコード　→

もぜひ見てください。

トップページ右上の「国際学部を受験する皆さんへ」のボタンをクリック

→「国際学部入試情報」のページへ

・受験生からよくある質問に答えた（Q&A）があります。

・課題遂行型対策講座の資料も同ページに掲載しています。